

平成 27 年度 事業報告書



社会福祉法人岡山県共同募金会

I 平成 27 年度共同募金実績額の概要

1. 共同募金実績額

(単位：円)

| 区分 | | 目標額 | 実績額 | 目標達成率 対前年度実績比 | 昨年度実績額 | 増減額 |
|------|--------|-------------|-------------|------------------|-------------|------------|
| 一般募金 | 市町村委員会 | 335,000,000 | 270,375,296 | 80.7% -2.0% | 275,881,124 | -5,505,828 |
| | 本会 | 5,000,000 | 14,203,301 | 284.1% 11.2% | 12,774,482 | 1,428,819 |
| | 計 | 340,000,000 | 284,578,597 | 83.7% -1.4% | 288,655,606 | -4,077,009 |
| 歳末募金 | 地域歳末 | 80,000,000 | 63,377,133 | 79.2% -1.3% | 64,199,682 | -822,549 |
| | NHK歳末 | 10,000,000 | 6,405,225 | 64.1% -0.9% | 6,464,108 | -58,883 |
| | 計 | 90,000,000 | 69,782,358 | 77.5% -1.2% | 70,663,790 | -881,432 |
| 合計 | | 430,000,000 | 354,360,955 | 82.4% -1.4% | 359,319,396 | -4,958,441 |

[参考] 募金方法別実績額

○一般募金

| 区分 | 合計(①～⑦) | ①戸別募金 | ②街頭募金 | ③法人募金 | ④学校募金 | ⑤職域募金 | ⑥イベント募金 | ⑦その他の募金 |
|-----|-------------|-------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|
| 実績額 | 284,578,597 | 215,049,957 | 3,048,931 | 28,990,954 | 2,162,511 | 18,291,973 | 5,241,896 | 11,792,375 |
| 構成比 | 100.0% | 75.6% | 1.1% | 10.2% | 0.8% | 6.4% | 1.8% | 4.1% |

○歳末たすけあい募金

| 区分 | 合計(①～⑦) | ①戸別募金 | ②街頭募金 | ③法人募金 | ④学校募金 | ⑤職域募金 | ⑥イベント募金 | ⑦その他の募金 |
|-----|------------|------------|---------|-----------|--------|--------|---------|-----------|
| 実績額 | 69,782,358 | 59,716,009 | 288,392 | 1,639,000 | 82,079 | 15,000 | 991,716 | 7,050,162 |
| 構成比 | 100.0% | 85.6% | 0.4% | 2.4% | 0.1% | 0.0% | 1.4% | 10.1% |

*NHK歳末たすけあい募金の実績は、⑦その他の募金に計上。

Ⅱ 事業実施の内容

1. 共同募金運動の推進

(1) 市町村共同募金委員会の活動支援

市町村共同募金委員会の地域における主体的な広報・募金活動の推進を支援し、共同募金への住民参加を促進し、募金実績の向上に取り組んだ。

①「共同募金活動強化特別支援事業」の実施

市町村共同募金委員会の募金額の増額につながる取り組みを支援し、募金実績の向上と共同募金への理解と協力、住民参加の促進を図った。

[19 市町・27 事業/助成総額 6,080,000 円]

②新たな募金グッズの企画・作製

市町村共同募金委員会担当者の意見を反映するなどした新たな募金グッズを企画・作製し、職域募金の増額及び新たな寄付者の開拓に努めた。



帆布バッグ
(津山市共同募金委員会作製)



東児ライダーコラボ缶バッジ
(玉野市共同募金委員会作製)



ちゅっぴーバッジ
(総社市共同募金委員会作製)



ピオーラちゃんノート
(新見市共同募金委員会作製)



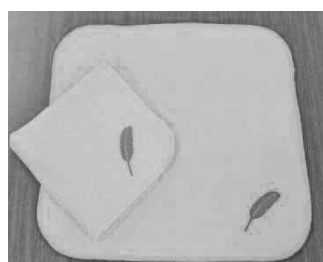
非常食セット
(備前市共同募金委員会作製)



木製トレイ
(真庭市共同募金委員会作製)



やかっぴーバッジ
(矢掛町共同募金委員会作製)



(岡山県共同募金会作製)



④寄付機能付清涼飲料水自動販売機設置の推進

新たな募金方法のひとつとして、寄付機能付清涼飲料水自動販売機（ハートフルベンダー、伊藤園赤い羽根自動販売機、西日本ビバレッジ自動販売機）の設置を促進することにより募金の向上を図った。

[設置台数 17 台／寄付合計額 812,425 円]

(2) 住民の支えあい活動の支援

①「赤い羽根 まちづくり福祉活動助成事業」の実施

市町村共同募金委員会が地域の実情に合わせた独自の助成基準・選考により、ふれあい・いきいきサロン等の地域の福祉活動団体に主体的に助成ができるよう市町村共同募金委員会に対し助成財源を交付した。

[23 市町・24 事業／助成総額 17,680,000 円]

②「赤い羽根 ボランティア団体・NPO活動支援事業」の実施

ボランティア団体やNPO法人が行う福祉及び福祉を主体とした事業に対し、公募方式により助成を決定した。

[14 団体／助成総額 2,170,000 円]

③「地域から孤立をなくそう」ささえあいプロジェクトの実施

1月1日から2月29日までの2か月間、地域で孤立するおそれのある人や孤立をなくするための支援活動を行うNPO法人等と協働して、本プロジェクトを実施した。

参加団体は、自らの活動の必要性を訴えながら、その活動に必要な資金を主体的に調達するための募金活動を行い、参加団体が集めた募金に一定額を加算し、それぞれの団体の活動に対し助成を決定した。

[5 団体／助成総額 7,130,000 円]

(3) 共同募金広報の展開

- ①報道機関への情報提供活動
- ②新聞広告の掲載
- ③テレビ・ラジオスポットの放映・放送
- ④ホームページを活用した情報提供
- ⑤赤い羽根データベース「はねっと」による助成内容の情報提供
- ⑥チラシの作成・配布
- ⑦赤い羽根協力店の設置推進
- ⑧各種募金・広報資材の活用
- ⑨学校募金
- ⑩配分交付式・贈呈式の実施

[※取組内容は別掲]

2. 共同募金運動の展開

(1) 初日行事（オープニングセレモニー）

運動初日 10月1日のオープニングセレモニーには、多数の募金関係者、ボランティアが参加し運動開始を華々しく飾った。



① 赤い羽根空の第一便（第54回）－ANAグループ（全日空）協賛行事

全日空機羽田発岡山着の第一便にて、厚生労働大臣及び中央共同募金会会長メッセージと赤い羽根が到着し、岡山駅前広場において、伊原木岡山県知事、大森岡山市長、藤本岡山県共同募金会長及び内田岡山市共同募金委員会会長あてのメッセージがANAグループ客室乗務員から伝達され、運動開始の気運を高めた。

なお、このイベントには、福祉関係団体職員、福祉専門学校生徒等約250名のボランティアが参加・協力した。

② 保育園児鼓隊演奏

上記セレモニー終了後、セレモニー会場にて市内等保育園児の鼓隊による演奏を行った。
(参加園：長船ちとせ保育園、岡北保育園)

③ 街頭募金活動

セレモニー後の街頭募金には、岡山県知事、岡山市副市長、岡山県共同募金会正副会長、岡山市共同募金委員会会長をはじめ、県・市幹部職員、福祉関係団体職員、ANAグループ客室乗務員、募金ボランティアなど多くの参加を得て、岡山駅前周辺においてさわやかに通行人へ募金協力を呼びかけた。



会場の様子



赤い羽根空の第一便

激励のこたば



赤い羽根・募金箱の伝達



セレモニー終了後の街頭募金風景



(2) 各地域での取り組み

上記オープニングセレモニーをかわきりに、県下各市町村において、それぞれ地域の特色を活かした募金・広報活動を展開した。



共同募金事業写真パネル展・初音ミクパネル展
(真庭市共同募金委員会)



みんなで集まろう家あ赤羽根カフェ
(井原市共同募金委員会)

(3) 備前焼チャリティの実施

岡山県、岡山市、岡山県市長会、岡山県町村会、岡山県社会福祉協議会、岡山市社会福祉協議会の後援による第13回「赤い羽根 備前焼チャリティ」（展示即売）を実施し、次の成果を得た。

○日程：10月14日（水）～15日（木）

○会場：岡山駅1階「つどいの広場」

○作品：本会会長 藤本道生（号：三猿）の無償提供作品

○成果：展示作品数 306点／販売作品数 173点

売上金額 356,005円／募金繰入額 356,005円

※第1回（平成15年）から第13回（平成27年）までの募金総額：6,448,805円



(4) 岡山大学歯学部専用「義歯リサイクルボックス」による寄付等

特定非営利活動法人西日本義歯リサイクルセンターから、岡山大学歯学部の協力による寄付金が岡山県共同募金会に寄付され、県内児童養護施設等を退所し、就職または進学する児童の生活支援に活用することとした。

寄付金は、岡山大学歯学部歯科診療待合室に設置されている「義歯リサイクルボックス」に、患者さんが不要となった義歯を寄贈していただき、西日本義歯リサイクルセンターが義歯を回収・リサイクルを行い、その益金を寄付金としたものである。

また、中国電力岡山支社からは、岡山市内で開催された「エネルギーアドリームコンサート」でのチャリティ募金が共同募金会に寄せられた。



西日本義歯リサイクルセンターからの贈呈



中国電力岡山支社からの贈呈

(5) 広報活動等

① 報道機関への情報提供活動

報道機関への積極的な情報提供に努め、テレビニュース、また、新聞記事で共同募金事業が取り上げられるよう働きかけ、県民の理解と協力が得られるよう努めた。



活動資金を寄せて

自殺予防、犯罪被害者支援…5団体

県共同募金会は、自殺予防や犯罪被害者支援といった社会問題に取り組む団体を指定し、その活動資金を募る「『地域から孤立をなくそう』ささえあいプロジェクト」を今年も実施している。市民らの募金額に応じて、募金会が助成金を加算して各団体を支援する仕組みで、2月末まで募金を受け付ける。

プロジェクトは、市民らに「地域の社会的課題」を

県共同募金会「ささえあいプロジェクト」

実感してもらうことなどを狙いに2014年から年1回実施。募金する人は希望の団体を指定し、好きな金額を郵便局で振り込む。募金は1円から可。各団体には募金額に加え、それに応じて算定した額が助成される。

今回の対象は、自殺などの悩みに応じる「岡山いのちの電話協会」▽犯罪被害者を支援する「被害者サポートセンターおかやま（VSCO）」▽電話で子どもの悩みを聞く「チャイルドライン」に取り組む「子ども劇場県センター」▽虐待を受けた子どもらを援助す

る「子どもシェルターモモ」▽路上生活者らを支援する「岡山・ホームレス支援きずな」の5団体。それぞれ「専用相談電話の設置」(VSCO)、「電話番号周知カードの配布」(子ども劇場県センター)など募金の使用目的を明示している。

県共同募金会の事務局（岡山市北区南方）や各団体で入手できる専用の申込書で募金する。問い合わせは募金会（086-223-0065）。（小川正貴）

各団体の取り組みも紹介している募金の申込書

② 新聞広告の掲載

運動開始初日の10月1日には、山陽新聞朝刊に新聞広告（全7段）を掲載し、県民に共同募金への理解と協力を求めた。

③テレビ・ラジオスポットの放映・放送

県内民放各社ならびにCATV各局に、運動期間中及び運動終了後の共同募金運動テレビスポット・ラジオスポットの放映・放送協力を依頼し、各局から多大な協力を得た。

(※協力先は下記参照／順不同)

| | | |
|---------------------|-----------|----------------|
| 山陽放送 (テレビ・ラジオ) | テレビ津山 | 美作市ケーブルテレビ |
| 岡山放送 | 笠岡放送 | 矢掛放送 |
| テレビせとうち | 井原放送 | 鏡野町有線テレビ |
| Oni ビジョン (岡山ネットワーク) | 吉備ケーブルテレビ | みさきタウンテレビジョン |
| 倉敷ケーブルテレビ | 日生有線テレビ | 岡山エフエム放送 (ラジオ) |
| 玉島テレビ放送 | 真庭いきいきテレビ | 山陽新聞社 (大型ビジョン) |

④ホームページを活用した情報提供

より見やすいホームページにするため、本会ホームページをリニューアルし、本会の活動や助成結果及び助成を受けた施設・団体からの「ありがとうメッセージ」、また、助成事業の案内等を掲載するなど、共同募金に関する情報提供に努めた。

⑤赤い羽根データベース「はねっと」による助成内容の情報提供

赤い羽根データベース「はねっと」により、助成先や助成事業内容などのデータを公表し、共同募金の使いみちの周知を図った。

⑥チラシの作成・配布

昨年度募金運動の結果報告ならびに本年度募金運動の目標額等や「ありがとうメッセージ」を掲載したチラシを作成、各戸に配布し、募金への協力と共同募金運動の理解促進に努めた。

⑦赤い羽根協力店の設置推進

地域のスーパー、コンビニ、金融機関等の人がよく集まる店舗等に共同募金ポスター及び募金箱を設置し、「赤い羽根協力店」活動の推進を図った。

⑧各種募金・広報資材の活用

共同募金運動を推進するにあたり、赤い羽根やポスターをはじめとした各種募金・広報資材を積極的に活用し運動を展開した。

また、子ども達にも共同募金に親しみと興味を持ってもらえるよう、「妖怪ウォッチ」や「初音ミク」をデザインしたクリアファイル等各種資材を活用し、募金活動を行った。

⑨学校募金

児童・生徒の「たすけあいの心」を育てるため、共同募金運動を説明した学校用壁新聞や学校募金ハンドブック (教師用手引書) などを配布するとともに、児童・生徒に組立式募金箱 (紙製) を配布し、自主的な募金への取り組みを図った。

⑩配分交付式・贈呈式の実施

共同募金の配分にあたっては、下記のとおり配分交付式・贈呈式を実施し、テレビ・新聞等報道機関を通じて、募金の使いみちについて県民への周知を図った。

| 開催日 | 名称 | 会場 |
|--------|-----------------|------------------|
| 4月13日 | 共同募金配分交付式 | きらめきプラザ |
| 12月22日 | NHK歳末たすけあい配分交付式 | ひかりの広場（リットシティビル） |
| 1月29日 | 節分福豆贈呈式 | きらめきプラザ |



共同募金配分交付式

配分が決定した 116 施設・団体の代表者に対し、本会会長より 配分決定通知書を交付した。



NHK歳末たすけあい配分交付式

配分が決定した 21 施設・団体の代表者に対し、本会会長より配分決定通知書を交付した。



節分福豆贈呈式

最上稲荷総本山奉賛会より本会が福豆等の寄贈を受け、岡山市内の児童養護施設等へ福豆等を配布した。

3. 歳末たすけあいの実施

(1) NHK歳末たすけあい

NHK岡山放送局と連携し、12月1日より同月25日まで募金の受付を行い、配分については全県的視野から効果的かつ適切な配分を行った。

なお、配分にあたり、12月22日にNHK岡山放送局に隣接した「ひかりの広場」にて配分交付式を実施した。



NHK歳末たすけあいの初日、市内幼稚園園児からの募金を受け取った。

(2) 地域歳末たすけあい

12月1日より年末まで歳末たすけあい募金を実施し、市町村社会福祉協議会の行う歳末支援事業に配分を行った。

Ⅲ 顕 彰

岡山県総合社会福祉大会（10月8日／岡山市民会館）にて、共同募金運動奉仕功労者・従事功労者等に対し、岡山県共同募金会会長表彰を贈り顕彰した。

また、全国社会福祉大会（11月20日／日比谷公会堂）にて、共同募金奉仕に功労のあった個人・団体に対し、中央共同募金会会長表彰を贈り顕彰した。

| | | |
|--------------|---------|-----|
| 中央共同募金会会長表彰 | 奉仕功労者 | 2名 |
| | 優良地区・団体 | 1団体 |
| 岡山県共同募金会会長表彰 | 奉仕功労者 | 35名 |
| | 奉仕団体 | 8団体 |
| | 従事功労者 | 4名 |

IV 市川基金の運営

市川基金（市川勝博氏よる寄付）による助成を行った。

[3 団体／助成総額 900,000 円]

V 緊急配分金の運営

緊急配分金による火災見舞金（住家全焼に対する見舞金、火災による死亡に対する弔慰金）への配分を行った。

[配分額 960,000 円]

VI 災害への対応

災害たすけあいへの協力状況は次のとおり。

| No. | 義援金名称 | 募集期間 | 送金先 | 義援金額(円) |
|-----|--------------------------------|--|-----------|---------|
| 1 | 屋久島町口永良部島 新岳噴火災害義援金 | 平成 27 年 6 月 3 日～ 平成 27 年 12 月 25 日 | 鹿児島県共同募金会 | 34,763 |
| 2 | 平成 27 年台風第 18 号による 大雨等災害義援金 | 平成 27 年 9 月 15 日～ 平成 27 年 12 月 30 日 | 中央共同募金会 | 111,733 |
| 3 | 茨城県台風 18 号等災害義援金 | 平成 27 年 9 月 11 日～ 平成 27 年 12 月 31 日 | 茨城県共同募金会 | 185,890 |
| 4 | 栃木県台風 18 号等災害義援金 | 平成 27 年 9 月 14 日～ 平成 27 年 12 月 30 日 | 栃木県共同募金会 | 88,857 |
| 5 | 宮城県台風 18 号等災害義援金 | 平成 27 年 9 月 16 日～ 平成 27 年 11 月 30 日 | 宮城県共同募金会 | 27,623 |
| 6 | 台風第 21 号 与那国町災害義援金 | 平成 27 年 10 月 6 日～ 平成 27 年 12 月 31 日 | 沖縄県共同募金会 | 1,200 |
| | | 計 | | 450,066 |